

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生確保の見通し

ア 定員充足の見込み

金融学科の受験者数（一般方式入試及びセンター方式入試）は、入学定員 100 名に対して、過去 5 年間で、最も少ない平成 25 年度入試において 1,339 名、最も多かった平成 27 年度入試において 2,265 名となっており、最近 3 年間では増加傾向にある（資料 1）。合格倍率も、最も低かった平成 25 年度入試で 3.3 倍と、今回の 20 名の入学定員増があっても、十分に学生を確保できる状態である（資料 2）。大手予備校である河合塾が毎年発表している一般入試結果の偏差値においても 55.0 から 57.5 の間で安定的に推移していることから、受験生の質も保たれていると考えられる。

また、就職率の過去 5 年間の平均は 92%であり、直近の 2 年間は 96%を超えている（資料 3）。さらに、金融業界への就職割合も高いことから（資料 4）、その点からも、新しい入学定員を十分に充たすことができると判断した。

さらに、入学定員及び収容定員が増えても、教育の質に大きな問題は生じない。現在、専任教員一人当たり、一学年で 10 人前後のゼミ生を担当している。1 ゼミにつき 2 名程度の増加は、教育の質の低下を招くことなく、受け入れることが可能である。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

本学金融学科への受験者数の堅調な推移についてはすでに触れたが、今回の入学定員及び収容定員の増加を申請するに当たり、次のような調査を実施した（資料 5、資料 6）。

実施時期：平成 27 年 3 月 24 日～4 月 28 日

調査対象：関東地方を中心とする 11 都県の 64 高校（実際に志願者のあった高校）の高校 3 年生（平成 27 年度）12,672 名

回答者数：9,289 名（回答率 73.3%）

調査項目：属性（性別／高校種別／高校所在地／所属クラス）、高校卒業後の希望進路、興味のある学問系統、「経済学部金融学科」の特色に対する魅力度、「経済学部金融学科」への受験意向、「経済学部金融学科」への入学意向

次に、調査の主な結果を示す（資料 7）。第 1 は、回答者の属性であるが、男女比についてはほぼ半分ずつである。高校所在地の分布は、東京都、埼玉県、そして千葉県のみ 1 都 2

県で全体の 83.6%を占めている。ちなみに平成 27 年度入試の金融学科への合格者においても、東京都、埼玉県、そして千葉県の 1 都 2 県の割合は全体の 80.0%であった。所属コースは文系クラスが全体の 71.4%を占めており、私立大学志望も全体の 77.1%である。さらに興味のある学問領域では、金融学科が含まれる「経済・経営・商学」は 30.4%になる。以上から、この調査における回答者の属性は、本校の金融学科への志望調査を尋ねる対象としてほぼ適切と考えられる。

第 2 は、第 1 で提示した回答者が、本学金融学科の教育の特徴をどのような判断しているかについての結果である。回答者には、次の 3 つの特徴について回答してもらった。

〈金融学科特徴 A〉

経済活動をモノという実物活動だけではなく、金融という視点からも捉えることができる能力を養い、実践で役に立つファイナンス理論やその背景にある金融制度を深く学び、多様化し、また国際化する金融の世界で活躍できる人材を育てます

〈金融学科特徴 B〉

本学の教授陣が、本学の学生に合わせたテキストを使用することで、初年度に金融の基礎をしっかり身につけることができる教育体制をとっています

〈金融学科特徴 C〉

証券アナリスト第 1 次試験に合格する水準の知識を身につけさせると同時に、専門分野に限らず経済や経営など幅広い学習ができる環境を整えています

分析は、回答者全体に対するものと経済・経営・商学という学問系統に興味を持っている回答者に対するものの 2 通りを行った。回答者全体に対しては、金融学科特徴 A、金融学科特徴 B、そして金融学科特徴 C のいずれも 60%前後の回答者が「魅力を感じる」と回答している。それを、経済・経営・商学という学問系統に興味を持っている者に尋ねたところ、いずれも約 75%が「魅力を感じる」と回答している（資料 8）。

第 3 は、本学の金融学科への受験希望と、受験希望がある回答者における入学希望に関する調査結果である。回答者全体の受験希望は 13.0%とあまり高くはないが、経済・経営・商学という学問系統に興味を持っている者を母数にした場合は、29.9%と 3 割近い生徒が受験希望を持っていることが明らかになった（資料 9）。さらに、アンケートでは、受験希望を持っている者に対して、入学意思があるかどうかを尋ねている。その結果は、回答者全体及び経済・経営・商学という学問系統に興味を持っている者の間では大きな数字の違いはなく、ともに 85%程度の回答者が入学したいと答えている（資料 10）。

最近の東京都、埼玉県、そして千葉県における進学者数は 10 数万人で推移しており、10 数万人を母数で考えると、その 13%は 1 万人を優に超える数となり、このアンケート結果

からも本学金融学科への受験ニーズが高いと判断できる。また、合格した場合の入学希望についても 8 割を超えていることから、本学金融学科で学びたい高校生の数は新しい入学定員に対してもかなり大きいものと考えられる。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

金融学科を含めて、本学では、全学的に安定的した学生確保のために、次のような取組を実施している。

第 1 は、多様な入試を行っていることである。本学だけの受験生を対象とした一般方式入試は、全学部統一 2 科目型と個別学部併願 3 科目型、センター方式入試は、前期日程と後期日程、高校時代の課外活動を重視した指定校制特別入試、帰国生徒対象入試、そして社会人入試を実施している他、編入学、転入学、そして学士入学という道を用意している。

第 2 は、高校生に本学をより良く知ってもらう機会を用意していることである。それらの機会とは、オープンキャンパス（年 4 回、平成 26 年度参加者総数 5,539 名）、一般入試説明会（年 1 回、平成 26 年度参加者数 900 名）、模擬授業（平成 26 年度 75 回）、高校で行う進路説明会（平成 26 年度 152 回）、そして高校による大学訪問（平成 26 年度 41 回）である。これらの試みは、大学を深く知ってもらうことを目的としている。

第 3 は、高校生に本学を広く知ってもらうための試みである。これは、いわゆる広報活動と呼ばれるものである。広報活動の大きな柱は大きく分けて 2 つあり、一つが大学 Web サイトの充実である。現在の大学 Web サイトは平成 25 年 9 月にリニューアルを実施したものであるが、平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日の半年間と、平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日の半年間を比べると、ページビュー（PV）数は 168 万 9,464PV から 181 万 7,194PV にアップした。もう一つは、いわゆる大学案内を通しての広報活動であり、大学案内は Web でも閲覧可能であるが、冊子も求めに応じて郵送している。この郵送件数は、最近 3 年間は、年 2 万件前後で推移している。

このように、多様な学生を受け入れるための入試を行い、広く本学を知ってもらうだけでなく、深く本学を知ってもらうための試みについてバランスを取りながら実施しているのが、本学の学生確保に向けた取組の特徴である。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

経済学部は、経済社会を対象とする理論と応用に関する知識を修得させ、主体的な思考力と適切な意志決定遂行能力を涵養することを教育研究上の目的とするとともに、あわせて現代の経済社会が直面する課題解決に際し、意欲的に取り組む力を持った有為な社会人育成を人材養成の目的とする。

経済学部が目ざすのは、経済・経営・金融の 3 分野における専門教育を通じて、建学の

精神の「自ら調べ、自ら考える」ことを実践し、現代の経済社会が直面している様々な課題の解決に取り組む力と意欲に満ちた人材を養成することである。そのために、経済社会に関する総体的知識及び専門的知識と応用力を修得できるような、教育プログラムを立案し、実施している。確固とした専門的知識と応用力の修得を軸としつつ、現代社会を生きるために必要不可欠な幅広い教養と良識を培うことによって、本学部は学部学生に対して、自立的な個人として主体的に思考し、かつ社会的責任を自覚して適切な判断や意思決定を行いうる能力の涵養をはかっている。

金融学科においては、まず経済現象に関する理論と現実の経済活動について学び、現代経済においてますます重要性を高めている金融・ファイナンスの専門的知識を修得し、金融機関の運営や企業のファイナンス業務において能力を発揮しうる人材の育成を旨としている。本学科のゼミナールは、金融の現実を体験的に把握し、理論的見通しや総合的判断を実践に移す力を身につけさせるためにある。なお本学科では、証券アナリスト等、金融分野の専門家を志す学生を対象として、そのためにとくに必要な専門的知識と能力を得させるための指導も行っている。

② 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

金融学科卒業生の人材需要については、すでに金融業界への就職割合が高いことを示したが、今回の入学定員及び収容定員の増加を申請するに当たり、次のような調査を実施した（資料 11、資料 6）。

実施時期	：平成 27 年 3 月 16 日～4 月 28 日
調査対象	：関東地方を中心とする 22 都道府県の 873 社の企業の人事関連担当者
回答企業数	：271 社（回答率 31.0%）
調査項目	：属性（人事採用への関与度／本社所在地／勤務先の主な業種／従業員数）、正規社員の平均採用人数、本年度の採用予定数、採用したい学問系統、「経済学部 金融学科」の特色に対する魅力度、「経済学部 金融学科」の社会的必要性、「経済学部 金融学科」卒業生に対する採用意向、「経済学部 金融学科」卒業生の毎年の採用想定人数

次に、調査の主な結果を示す（資料 12）。第 1 は、回答企業（回答企業の回答者）の属性である。回答者に関しては、9 割以上が、何らかの形で採用に関係した業務に携わっているため、本調査の回答者としては問題がないと考えられる。回答企業の本社所在地に関しては、東京都が 7 割と多くなっている。株式上場企業の本店分布でも東京都は 5 割程度なので、本来の母集団と比較しても東京都に集中したものになっているが、これはアンケートの実施に伴う制約条件によるものである。業種分布も、金融人材のニーズが高いと考えら

れる製造業(18.8%) (国際展開に伴う金融人材ニーズ)、商社 (8.1%)、そして金融・保険業 (16.6%)の 3 業種で全体の 4 割を超えている。企業規模も、専門人材が必要となる大きな規模の企業が数多く含まれており、1,000 人以上規模の会社が 48.3%と約半分を占めている。採用方針は、「増やす」と「昨年度並み (現状維持)」を合わせてほぼ 8 割となっており、採用に積極的な企業が多く含まれている。採用したい学問系統は、経済・経営・商学系統は 32.5%である。このように、アンケート実施に係るいくつかの制約条件のため、やや不十分な点はあるにせよ、今回の調査目的を達するために大きな問題のない回答企業と考えることができる。

第 2 は、第 1 で紹介した回答企業の回答者が、本学金融学科の教育の特徴をどのような判断しているかについての結果である。回答者には、高校生に対する調査と同様に、次の 3 つの特徴について回答してもらった。

〈金融学科特徴 A〉

経済活動をモノという実物活動だけではなく、金融という視点からも捉えることができる能力を養い、実践で役に立つファイナンス理論やその背景にある金融制度を深く学び、多様化し、また国際化する金融の世界で活躍できる人材を育てます

〈金融学科特徴 B〉

本学の教授陣が、本学の学生に合わせたテキストを使用することで、初年度に金融の基礎をしっかり身につけることができる教育体制をとっています

〈金融学科特徴 C〉

証券アナリスト第 1 次試験に合格する水準の知識を身につけさせると同時に、専門分野に限らず経済や経営など幅広い学習ができる環境を整えています

分析は、回答企業全体に対するものと経済・経営・商学という学問系統に興味を持っている回答企業に対するものの 2 通りを行った。いずれの特徴においても、経済・経営・商学という学問系統に興味を持っている回答企業の方が、本学金融学科の特徴を評価する割合は高いものの、回答企業全体においても、8 割以上の企業が、本学の取り組みを評価し、魅力を感じていることが明らかになった (資料 13)。

第 3 は、本学金融学科の社会的必要性に関する評価と採用ニーズについての調査結果である。社会的必要性に関しては、本学の先進的かつユニークな教育活動が評価され、回答企業全体も経済・経営・商学という学問系統に興味を持っている回答企業も、ともに 9 割を超えている (資料 14)。採用ニーズについても、採用したいとする企業が、回答企業全体でも 85.6%、経済・経営・商学という学問系統に興味を持っている企業では約 9 割である 89.8%の企業が採用ニーズを有している (資料 15)。

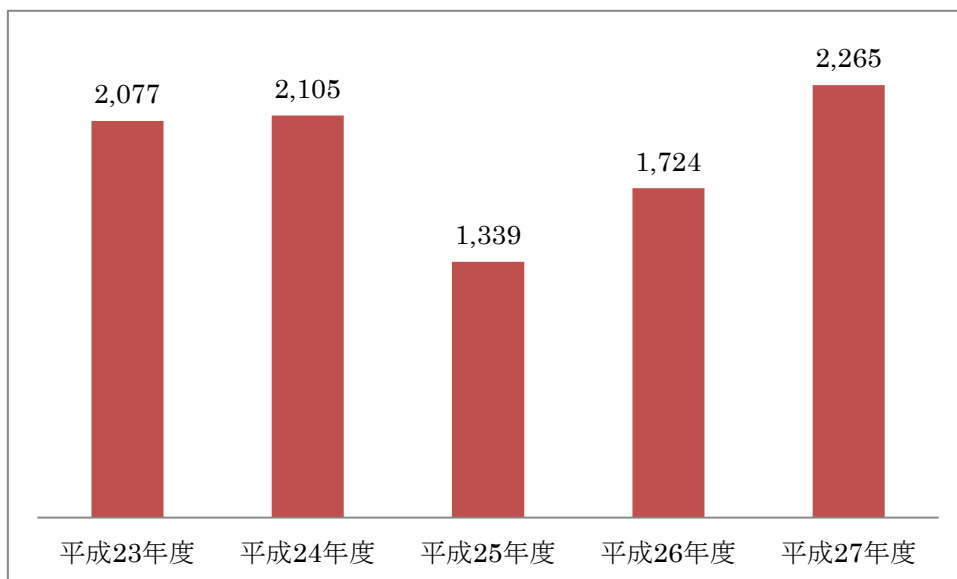
第 4 は、採用ニーズのある企業が、どのくらいの学生を確保したいのかを尋ねたものである。人数未定が過半数を占める一方で、2 名以上採用したいとする企業も少なくはなく、これは本学金融学科の卒業生によって築き上げられた功績と教育内容に対する期待の表れと評価できる（資料 16、資料 17）。

このように、本学金融学科の人材需要については、今までの実績と今回調査の結果を踏まえると、入学定員を 20 名増加しても、その新たな供給は、現在の需要によって十分に満たされることが予想される。

資料目次

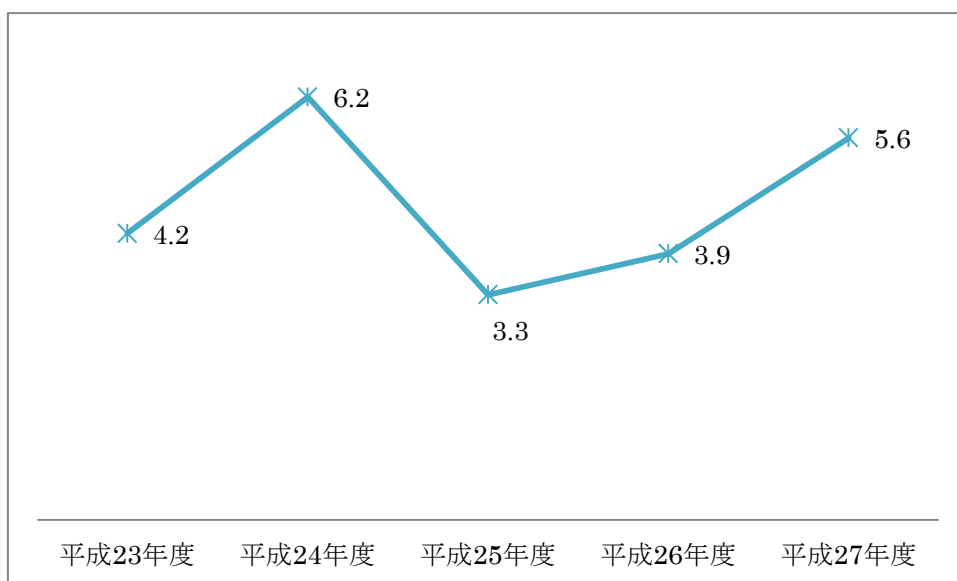
資料1	金融学科の受験者数の推移	p. 1
資料2	金融学科の倍率（合格者÷受験者数）の推移	p. 1
資料3	金融学科、武蔵大学、全国平均の就職率	p. 2
資料4	金融学科、経済学部、武蔵大学全体の金融業界への就職割合	p. 2
資料5	高校生対象調査票	p. 3
資料6	調査票同封リーフレット	p. 5
資料7	高校生に対する金融学科ニーズ調査（属性）	p. 7
資料8	金融学科の特徴に対する評価（生徒）	p. 9
資料9	本学金融学科の受験希望（生徒）	p. 9
資料10	本学金融学科の入学希望（生徒）	p. 9
資料11	企業対象調査票	p. 10
資料12	企業に対する金融学科ニーズ調査（属性）	p. 12
資料13	本学金融学科の特徴に対する評価（企業）	p. 14
資料14	本学金融学科の社会的必要性に関する評価（企業）	p. 15
資料15	本学金融学科卒業生に対する採用ニーズ（企業）	p. 15
資料16	採用したい人数（回答企業全体）	p. 16
資料17	採用したい人数（経済・経営・商学という学問系統に興味を持つ 回答企業全体）	p. 16

資料1 金融学科の受験者数の推移



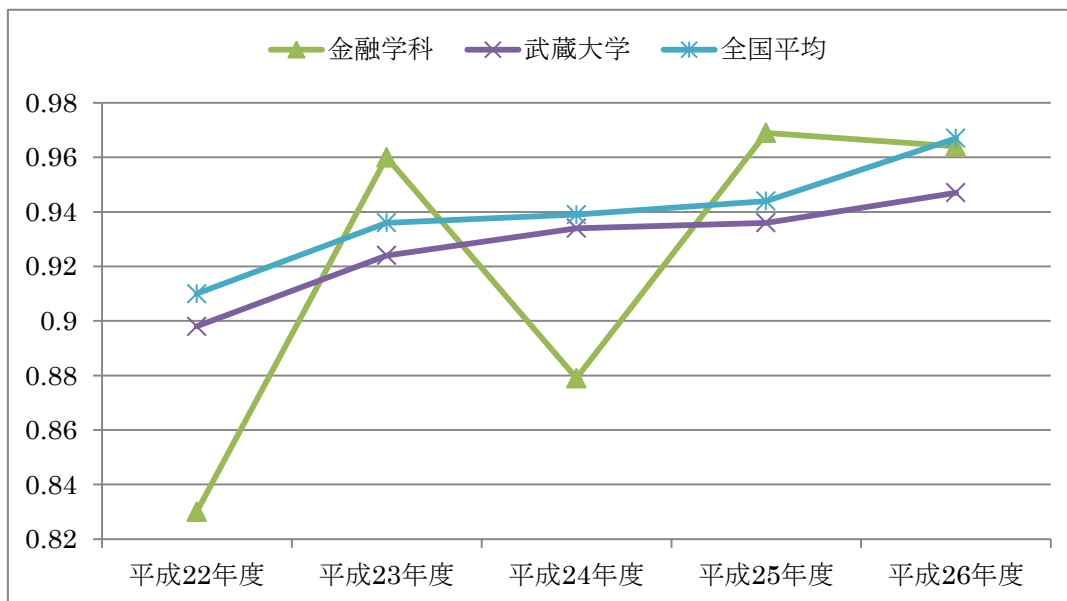
注) 横軸は入試年度

資料2 金融学科の倍率（合格者÷受験者数）の推移



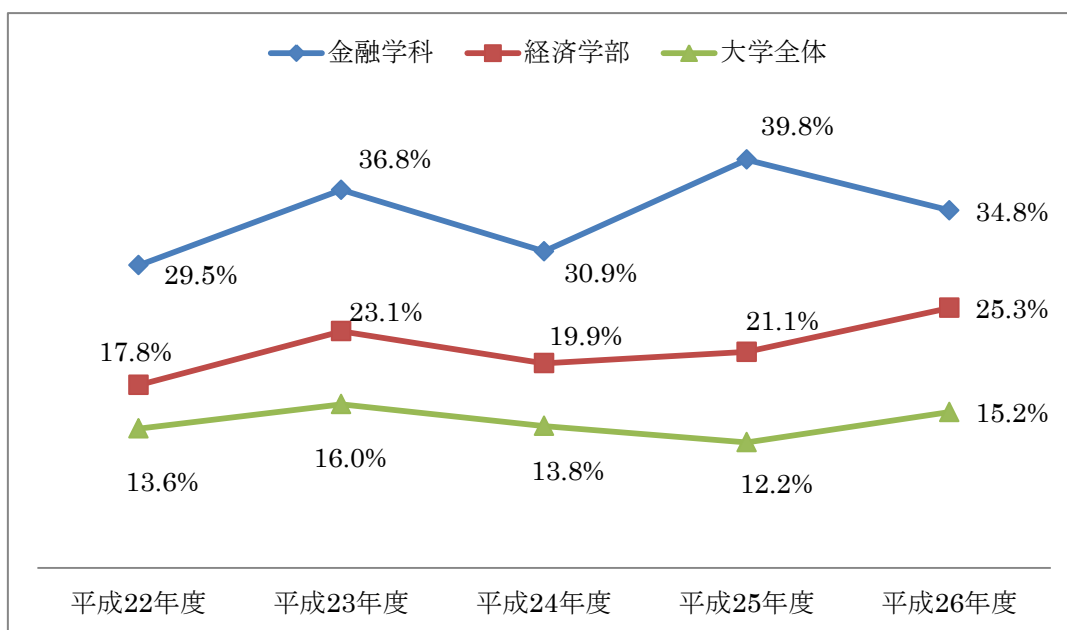
注) 横軸は入試年度

資料3 金融学科、武蔵大学、全国平均の就職率



注) 全国平均は、厚生労働省・文部科学省「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」を資料とした

資料4 金融学科、経済学部、武蔵大学全体の金融業界への就職割合



注) 金融学科、経済学部、そして武蔵大学全体の就職者数を分母、それぞれの金融業界への就職者数を分子に計算した。

資料 5 高校生対象調査票

15011	No. 																								
<h2 style="margin: 0;">武蔵大学「経済学部 金融学科」に関するアンケート</h2>																									
<p>武蔵大学では2016年(平成28年)4月より、「経済学部 金融学科」の入学定員を増やすことを計画しています。このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、武蔵大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。</p>																									
<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <div style="width: 45%;"> <p>記入の方法</p> <p>1. 回答は、あてはまる項目の□枠に✓をつけてください。 2. この用紙は、電算処理しますので、汚さないようにしてください。 3. 記入にあたっては、必ず鉛筆またはシャープペンシルで濃く書いてください。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>4. 質問により、1つだけ答えるものと、複数答えるものがあります。 5. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【記入例】</p> <p>Q. あなたは、どのような学部に興味がありますか。(いくつでも)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 文学 <input type="checkbox"/> 法学 <input type="checkbox"/> 社会学 </td> <td style="width: 25%; text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 文学 <input checked="" type="checkbox"/> 国際関係 <input type="checkbox"/> 社会学 </td> <td style="width: 25%; text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 文学 <input type="checkbox"/> 社会学 <input type="checkbox"/> 社会学 </td> <td style="width: 25%; text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 社会学 <input type="checkbox"/> 社会学 <input type="checkbox"/> 社会学 </td> </tr> </table> </div>		<input checked="" type="checkbox"/> 文学 <input type="checkbox"/> 法学 <input type="checkbox"/> 社会学	<input type="checkbox"/> 文学 <input checked="" type="checkbox"/> 国際関係 <input type="checkbox"/> 社会学	<input type="checkbox"/> 文学 <input type="checkbox"/> 社会学 <input type="checkbox"/> 社会学	<input checked="" type="checkbox"/> 社会学 <input type="checkbox"/> 社会学 <input type="checkbox"/> 社会学																				
<input checked="" type="checkbox"/> 文学 <input type="checkbox"/> 法学 <input type="checkbox"/> 社会学	<input type="checkbox"/> 文学 <input checked="" type="checkbox"/> 国際関係 <input type="checkbox"/> 社会学	<input type="checkbox"/> 文学 <input type="checkbox"/> 社会学 <input type="checkbox"/> 社会学	<input checked="" type="checkbox"/> 社会学 <input type="checkbox"/> 社会学 <input type="checkbox"/> 社会学																						
<p>◆最初にあなた自身についてお聞きします。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">性別</td> <td style="width: 30%;"><input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性</td> <td style="width: 15%;">学年</td> <td style="width: 40%;"><input type="checkbox"/> 1年生 <input type="checkbox"/> 2年生 <input type="checkbox"/> 3年生</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">在籍している 高校名</td> <td>高校所在地 []</td> <td><input type="checkbox"/> 都</td> <td><input type="checkbox"/> 道 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 県 (←1つだけ)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立</td> <td colspan="2">[] 高等学校</td> </tr> <tr> <td>所属クラス (1つだけ)</td> <td><input type="checkbox"/> 文系クラス (文系コース)</td> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> コース選択はない</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 理系クラス (理系コース)</td> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> その他</td> </tr> </table>		性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	学年	<input type="checkbox"/> 1年生 <input type="checkbox"/> 2年生 <input type="checkbox"/> 3年生	在籍している 高校名	高校所在地 []	<input type="checkbox"/> 都	<input type="checkbox"/> 道 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 県 (←1つだけ)	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立	[] 高等学校		所属クラス (1つだけ)	<input type="checkbox"/> 文系クラス (文系コース)	<input type="checkbox"/> コース選択はない			<input type="checkbox"/> 理系クラス (理系コース)	<input type="checkbox"/> その他						
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	学年	<input type="checkbox"/> 1年生 <input type="checkbox"/> 2年生 <input type="checkbox"/> 3年生																						
在籍している 高校名	高校所在地 []	<input type="checkbox"/> 都	<input type="checkbox"/> 道 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 県 (←1つだけ)																						
	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立	[] 高等学校																							
所属クラス (1つだけ)	<input type="checkbox"/> 文系クラス (文系コース)	<input type="checkbox"/> コース選択はない																							
	<input type="checkbox"/> 理系クラス (理系コース)	<input type="checkbox"/> その他																							
<p>◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。</p> <p>Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。 以下の項目から、あてはまるものすべてをお選びください。(いくつでも)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 国公立大学に進学</td> <td><input type="checkbox"/> 短期大学に進学</td> <td><input type="checkbox"/> 就職</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 私立大学に進学</td> <td><input type="checkbox"/> 専門学校・専修学校に進学</td> <td><input type="checkbox"/> その他</td> </tr> </table> <p>Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。 以下の項目から、興味のある学問系統すべてをお選びください。(いくつでも) (現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 経済・経営・商学</td> <td><input type="checkbox"/> 教員養成・教育学</td> <td><input type="checkbox"/> 理学</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 社会学</td> <td><input type="checkbox"/> 生活科学 (食物・栄養学、被服学、 児童学など含む)</td> <td><input type="checkbox"/> 工学</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 法学(政治学など含む)</td> <td><input type="checkbox"/> 芸術学(美術・デザイン、音楽など含む)</td> <td><input type="checkbox"/> 農・水産学</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 文学 (心理学、考古学、地理学、 歴史学、哲学など含む)</td> <td><input type="checkbox"/> 総合科学</td> <td><input type="checkbox"/> その他</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 語学(言語学など含む)</td> <td><input type="checkbox"/> 看護・保健学</td> <td><input type="checkbox"/> まだ決めていない</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 国際関係学</td> <td><input type="checkbox"/> 医・歯・薬学</td> <td></td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 国公立大学に進学	<input type="checkbox"/> 短期大学に進学	<input type="checkbox"/> 就職	<input type="checkbox"/> 私立大学に進学	<input type="checkbox"/> 専門学校・専修学校に進学	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 経済・経営・商学	<input type="checkbox"/> 教員養成・教育学	<input type="checkbox"/> 理学	<input type="checkbox"/> 社会学	<input type="checkbox"/> 生活科学 (食物・栄養学、被服学、 児童学など含む)	<input type="checkbox"/> 工学	<input type="checkbox"/> 法学(政治学など含む)	<input type="checkbox"/> 芸術学(美術・デザイン、音楽など含む)	<input type="checkbox"/> 農・水産学	<input type="checkbox"/> 文学 (心理学、考古学、地理学、 歴史学、哲学など含む)	<input type="checkbox"/> 総合科学	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 語学(言語学など含む)	<input type="checkbox"/> 看護・保健学	<input type="checkbox"/> まだ決めていない	<input type="checkbox"/> 国際関係学	<input type="checkbox"/> 医・歯・薬学	
<input type="checkbox"/> 国公立大学に進学	<input type="checkbox"/> 短期大学に進学	<input type="checkbox"/> 就職																							
<input type="checkbox"/> 私立大学に進学	<input type="checkbox"/> 専門学校・専修学校に進学	<input type="checkbox"/> その他																							
<input type="checkbox"/> 経済・経営・商学	<input type="checkbox"/> 教員養成・教育学	<input type="checkbox"/> 理学																							
<input type="checkbox"/> 社会学	<input type="checkbox"/> 生活科学 (食物・栄養学、被服学、 児童学など含む)	<input type="checkbox"/> 工学																							
<input type="checkbox"/> 法学(政治学など含む)	<input type="checkbox"/> 芸術学(美術・デザイン、音楽など含む)	<input type="checkbox"/> 農・水産学																							
<input type="checkbox"/> 文学 (心理学、考古学、地理学、 歴史学、哲学など含む)	<input type="checkbox"/> 総合科学	<input type="checkbox"/> その他																							
<input type="checkbox"/> 語学(言語学など含む)	<input type="checkbox"/> 看護・保健学	<input type="checkbox"/> まだ決めていない																							
<input type="checkbox"/> 国際関係学	<input type="checkbox"/> 医・歯・薬学																								
(裏面へ続く)																									

15012

◆武蔵大学「経済学部 金融学科」についてお聞きます。

武蔵大学では、現在高校3年生のみなさんが大学生となる2016年(平成28年)4月に、「経済学部 金融学科」の入学定員を増やすことを計画しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

- Q3. 武蔵大学「経済学部 金融学科」には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。
(それぞれ、あてはまるものを1つだけ)

		とても 魅力を 感じる	ある程度 魅力を 感じる	あまり 魅力を 感じない	まったく 魅力を 感じない
例.	〇〇が身につきます。	→ <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A.	経済活動をモノという実物活動だけではなく、金融という視点からも捉えることができる能力を養い、実践で役に立つファイナンス理論やその背景にある金融制度を深く学び、多様化し、また国際化する金融の世界で活躍できる人材を育てます。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B.	本学の教授陣が、本学の学生に合わせたテキストを使用することで、初年度に金融の基礎をしっかり身につけることができる教育体制をとっています。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C.	証券アナリスト第1次試験に合格する水準の知識を身につけさせると同時に、専門分野に限らず経済や経営など幅広い学習ができる環境を整えています。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- Q4. あなたは、武蔵大学「経済学部 金融学科」を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに近いもの1つをお選びください。(1つだけ)

受験したいと思う 受験したいと思わない

- Q5. あなたは武蔵大学「経済学部 金融学科」を受験して合格したら、入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに近いもの1つをお選びください。(1つだけ)

入学したいと思う 入学したいと思わない

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。***

MUSASHI UNIVERSITY

多様化、国際化する
金融の世界に
対応できる能力を育てる

武蔵大学

経済学部
金融学科
取得学位: 学士(経済)

Dept. of Finance






金融学科の特色

経済のグローバル化は、金融の世界にも急激な変化を巻き起こしました。今後、金融業界をはじめ広く実業界での活躍をめざすには、金融に関する専門的な知識と、即戦力として役立つ実務的知識が不可欠です。金融学科では金融の視点から経済の基礎を学ぶとともに、実践的なファイナンス理論や金融制度などを深く学びます。

金融学科のポイント

point 1 基礎から最先端の分野まで、
金融を専門的に学ぶ

全国的に見ても、金融学科がある大学はそう多くありません。本学科では金融の仕組み、金利や株価の決定といった金融の基礎から、新しい金融商品をつくり出す金融工学まで幅広く学びます。

point 2 学科独自の方法で
金融の基礎を身につける

1年次前期に履修する「教養ゼミナール」では、本学教授陣が出版したテキストを使用し、半年間で金融の基礎をしっかりと身につけます。このテキストは、金融学科の開講科目を勉強するために必要な知識を体系的に理解できるように編集されています。

point 3 証券アナリスト第1次レベル試験に
合格する実力に到達

金融学科で展開する科目を幅広くきちんと履修すれば、証券アナリスト第1次レベル試験に合格するレベルに達します。「証券アナリスト」科目では、試験で課される「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」、「財務分析」、「経済」の3科目の試験対策を少人数で学べます。

2年次からは各コースに分かれ、ゼミを中心に専門的、系統的に学んでいきます

経済学科

経営学科

金融学科

}

金融コース

証券アナリストコース

豊かな生活や健全な企業経営を実現するには、お金(金融)に関する知識が不可欠です。お金の視点から家計や企業活動を総合的に管理・運営する方法を学びます。

証券アナリストの資格取得をめざすコースです。科目には検定試験の対策講座も含まれ、卒業までに第1次レベル試験(3科目)に合格することを目標とします。

※ゼミは1年次よりすべての学生が履修可能です。また、経済学科、経営学科のコース(ゼミ)も選択できます。

入学定員 100名 → 120名に増員を構想中

※入学定員の増員は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

金融学科カリキュラム

※黒文字は必修科目、黒文字は選択科目。 ※どのコースに所属しても、学部内の他コース科目を履修することができます。

		1年次	2年次	3年次	4年次
専門科目	学部必修	教養ゼミナール プレ専門ゼミナール	専門ゼミナール第1部	専門ゼミナール第2部	専門ゼミナール第3部
	学科必修	金融学概論 金融論1 ミクロ経済学 マクロ経済学			
	金融コース	ファイナンス1			
	証券アナリストコース	ファイナンス1 証券市場論1			
		金融論2 簿記演習	金融数学 ファイナンス2 証券市場論1・2 保険・年金論	財務報告論1・2 ファイナンス3・4 投資政策論 国際ファイナンス 金融法	国際金融論 金融機関経営論 ビジネス・イングリッシュ 金融各論 信託論 など
		金融数学 簿記演習	金融論2 ファイナンス2 証券市場論2 証券アナリスト(経済分析/演習) 証券アナリスト(証券分析/演習)	財務報告論2 ファイナンス3・4 投資政策論 証券アナリスト(財務分析/演習)	金融機関経営論 金融法 国際金融論 国際ファイナンス 保険・年金論 など

金融論

金融学科の最も基本的な講義科目です。お金(貨幣)の種類、機能、保有動機などを理解した上で、日本の金融制度・システムについて詳しく学びます。貨幣の需要と供給を通して、金利・物価と実体経済(モノ、サービスの生産、流通)の相互関係も考察します。

ファイナンス

私たち個人や家族、さらには企業が直面するお金に関する意思決定について考えます。お金の価値と時間の関係、資産価格の評価、リスク管理が具体的なテーマです。

財務報告論

証券アナリスト第1次レベル試験科目の1つである「財務分析」の試験範囲を学習します。学習内容は、日商簿記検定1級の範囲から財務諸表分析や企業評価に至るまで多岐にわたります。

取得できる資格

- 中学校教諭1種免許状(社会)
- 高等学校教諭1種免許状(公民・商業)
- 学芸員

取得を目指す資格

証券アナリスト

卒業後の進路(2014年3月卒業生実績)



学費等初年度納付金(2015年度参考)

		前学期	後学期	年額
入学金	入学金	270,000円		270,000円
	授業料	370,000円	370,000円	740,000円
学費	維持費	150,000円	150,000円	300,000円
	計	(520,000円)	(520,000円)	(1,040,000円)
委託徴収諸会費	28,900円		28,900円	
初年度合計	818,900円	520,000円	1,338,900円	

全学部共通
納入を「年一括」あるいは「学期ごと」から選択できます。
※2016年度納付金額は未定です。左記の2015年度納付金額を参考にしてください。

同系統分野の大学・学部(一例)

- 立教大学 経済学部 / 会計ファイナンス学科
- 明治大学 商学部
- 法政大学 経済学部 / 国際経済学科、経済学科
- 獨逸大学 経済学部 / 経済学科、経営学科
- 成蹊大学 経済学部 / 経済経営学科
- 成城大学 経済学部 / 経済学科、経営学科
- 東洋大学 経済学部 / 経済学科

建学の三理想

1. 東西文化融合のわが民族理想を遂行し得べき人物
2. 世界に雄飛するにたえる人物
3. 自ら調べ自ら考える力ある人物

本学は建学の精神(三理想)に基づき、各学部の専門教育と全学共通の総合教育を通じて「自立」「対話」「実践」を基本目標とした人材養成を行っている。この3つの基本目標は、より具体的には、自ら調べ自ら考え、他者を尊重しながら心を開いて対話を行い、世界に思いをめぐらしながら身近な場所で実践し、また世界に雄飛して文化的な交流や実務的な共同作業を担う自立した活力ある人材を育てることを意味している。その過程で重んじられているのは、学びとった知を社会生活に活用し、その実践のなかで得られた体験や問題意識をのびのびに還元すること、すなわち知と実践の融合の精神である。

経済学部の教育研究上の目的

経済学部は、経済社会を対象とする理論と応用に関する知識を修得させ、主体的な思考力と適切な意思決定遂行能力を涵養することを教育研究上の目的とする。あわせて現代の経済社会が直面する課題解決に際し、意欲的に取り組む力を持った有為な社会人育成を人材養成の目的とする。

武蔵大学

ゼミの武蔵 経済学部・人文学部・社会学部

武蔵大学 大学企画室
〒176-8534
東京都練馬区豊玉上1-26-1
TEL:03-5984-3703

【主要駅からのアクセス】

池袋駅	西武池袋線	江古田駅	徒歩 6分
新宿駅	都営大江戸線	新江古田駅	徒歩 7分
渋谷駅	東京メトロ副都心線	新桜台駅	徒歩 7分
有楽町駅	東京メトロ有楽町線	新桜台駅	徒歩 5分

資料7 高校生に対する金融学科ニーズ調査（属性）

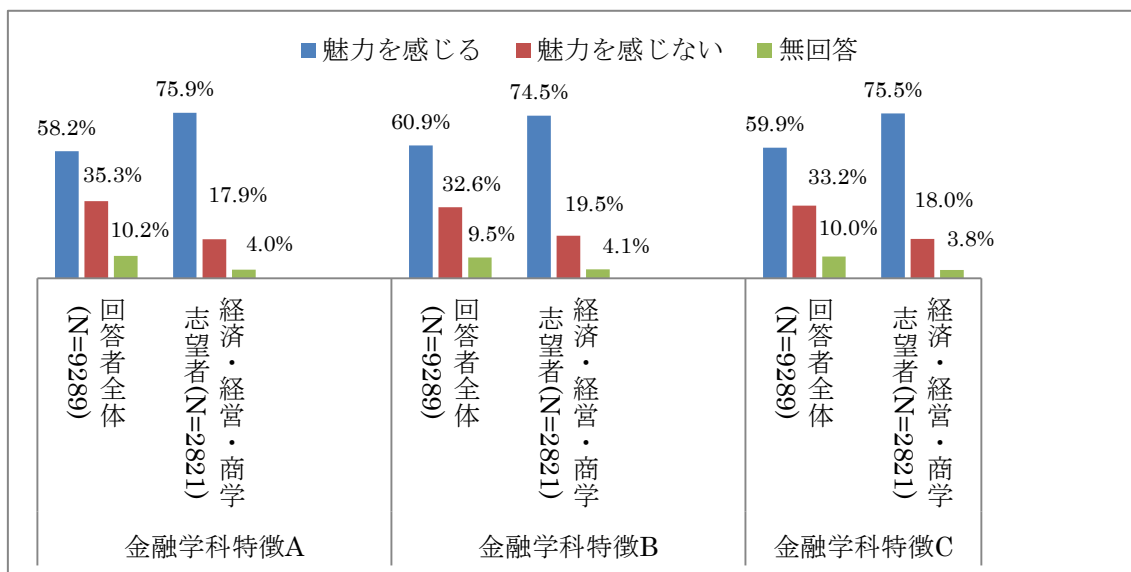
調査項目	回答項目	件数	割合
性別	男性	4,666	50.2%
	女性	4,481	48.2%
	無回答	142	1.5%
	合計	9,289	100.0%
高校所在地	東京都	4,262	45.9%
	埼玉県	2,957	31.8%
	千葉県	549	5.9%
	茨城県	285	3.1%
	その他	1,236	13.3%
	合計	9,289	100.0%
所属コース	文系クラス（文系コース）	6,636	71.4%
	理系クラス（理系コース）	1,231	13.3%
	コース選択はない	615	6.6%
	その他	417	4.5%
	無回答	390	4.2%
	合計	9,289	100.0%
進学希望 （複数回答※）	国公立大学に進学	1,483	16.0%
	私立大学に進学	7,160	77.1%
	短期大学に進学	505	5.4%
	専門学校・専修学校に進学	1,284	13.8%
	就職	381	4.1%
	その他	190	2.0%
	無回答	172	1.9%
	回答者数	9,289	—
興味のある学問系統 （複数回答※）	経済・経営・商学	2,821	30.4%
	社会学	1,229	13.2%
	法学	1,064	11.5%
	文学	2,135	23.0%
	語学	1,366	14.7%
	国際関係学	1,430	15.4%

	教員養成・教育学	1,605	17.3%
	生活科学	967	10.4%
	芸術学	900	9.7%
	総合科学	88	0.9%
	看護・保健学	806	8.7%
	医・歯・薬学	363	3.9%
	理学	522	5.6%
	工学	590	6.4%
	農・水産学	271	2.9%
	その他	758	8.2%
	まだ決めていない	304	3.3%
	無回答	154	1.7%
	回答者数	9,289	—

※複数回答のため、件数の合計は 9,289 になりません。

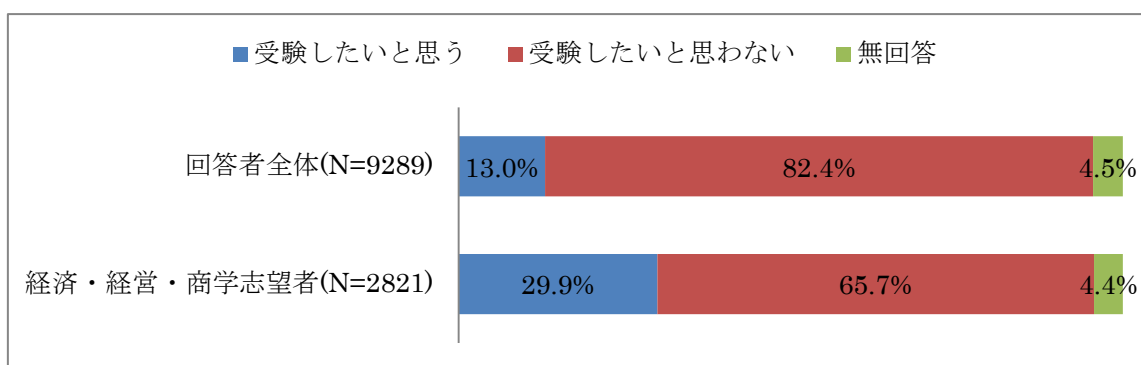
割合は回答者数に対する数値のため、合計は 100% になりません。

資料 8 金融学科の特徴に対する評価（生徒）

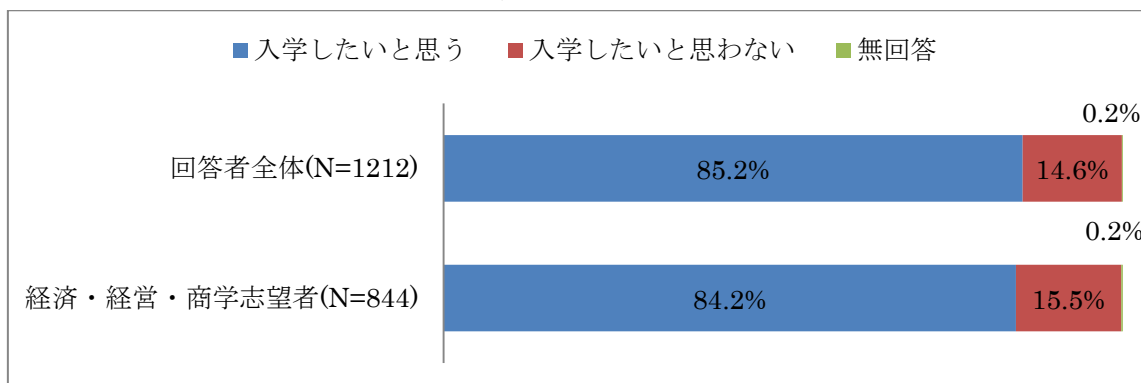


注) 「魅力を感じる」は、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計であり、「魅力を感じない」は「あまり魅力を感じない」と「まったく魅力を感じない」の合計である。

資料 9 本学金融学科の受験希望（生徒）



資料 10 本学金融学科の入学希望（生徒）



資料 11 企業対象調査票

15013

No.

武蔵大学「経済学部 金融学科」に関するアンケート

武蔵大学では2016年(平成28年)4月より、「経済学部 金融学科」の入学定員を増やすことを計画しています。このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

1. 回答は、あてはまる項目の□枠に✓をつけてください。

2. この用紙は、電算処理しますので、汚さないようにしてください。

3. 記入にあたっては、必ず鉛筆またはシャープペンシルで書くようにしてください。

4. 質問により、1つだけ答えるものと、複数答えるものがあります。

5. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。

【記入例】

Q. どのような学部を卒業した人物を採用したいですか。(いくつでも)

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">良い</div> 記入例	<input checked="" type="checkbox"/> 文学	<input type="checkbox"/> 法学	<input type="checkbox"/> 社会学
	<input type="checkbox"/> 語学	<input checked="" type="checkbox"/> 国際関係	

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまるもの1つだけ)

<input type="checkbox"/> 採用の決裁権があり、選考にかかわっている	<input type="checkbox"/> 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
<input type="checkbox"/> 採用の決裁権があるが、選考にかかわっていない	<input type="checkbox"/> 採用時には直接かわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地 都 道 府 県 ←1つだけ

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまるもの1つだけ)

<input type="checkbox"/> 建設業	<input type="checkbox"/> 不動産業	<input type="checkbox"/> 新聞・広告・出版・放送
<input type="checkbox"/> 製造業	<input type="checkbox"/> 運輸・倉庫業	<input type="checkbox"/> 旅行業
<input type="checkbox"/> 商社	<input type="checkbox"/> 電気・ガス業	<input type="checkbox"/> その他サービス
<input type="checkbox"/> 小売業	<input type="checkbox"/> 情報通信業	<input type="checkbox"/> 公務
<input type="checkbox"/> 金融・保険業	<input type="checkbox"/> 教育施設	<input type="checkbox"/> その他

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまるもの1つだけ)

<input type="checkbox"/> 50名未満	<input type="checkbox"/> 100名～500名未満	<input type="checkbox"/> 1,000名～5,000名未満
<input type="checkbox"/> 50名～100名未満	<input type="checkbox"/> 500名～1,000名未満	<input type="checkbox"/> 5,000名以上

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な新規大卒者の採用数について、お教えてください。

過去3か年 平均 名程度 ※アラビア数字(1,2,3・・・)でご記入ください。

Q6. 貴社・貴団体の本年度における新規大卒者の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまるもの1つだけ)

<input type="checkbox"/> 増やす	<input type="checkbox"/> 減らす	<input type="checkbox"/> 採用予定なし
<input type="checkbox"/> 昨年度並み	<input type="checkbox"/> 未定	<input type="checkbox"/> 見送り(中止)

裏面へ続く→

15014

Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。(あてはまるものすべて)

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 経済・経営・商学系統 | <input type="checkbox"/> 教員養成・教育学系統 | <input type="checkbox"/> 理学系統 |
| <input type="checkbox"/> 社会学系統 | <input type="checkbox"/> 生活科学系統 | <input type="checkbox"/> 工学系統 |
| <input type="checkbox"/> 法学系統 | <input type="checkbox"/> 芸術学系統 | <input type="checkbox"/> 農・水産学系統 |
| <input type="checkbox"/> 文学系統 | <input type="checkbox"/> 総合科学系統 | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 語学系統 | <input type="checkbox"/> 看護・保健学系統 | <input type="checkbox"/> 学部や学問系統にはこだわらない |
| <input type="checkbox"/> 国際関係学系統 | <input type="checkbox"/> 医・歯・薬学系統 | |

武蔵大学では、2016年(平成28年)4月に、「経済学部 金融学科」の
入学定員を増やすことを計画しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

Q8. 武蔵大学「経済学部 金融学科」には、以下のような特色があります。
貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度
魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまるものを1つだけ)

		とても 魅力を感じ る	ある程度 魅力を感じ る	あまり 魅力を感じ ない	まったく 魅力を感じ ない
例.	〇〇が身につきます。	→ <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A.	経済活動をモノという実物活動だけではなく、金融という視点からも捉えることができる能力を養い、実践で役に立つファイナンス理論やその背景にある金融制度を深く学び、多様化し、また国際化する金融の世界で活躍できる人材を育てます。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B.	本学の教授陣が、本学の学生に合わせたテキストを使用することで、初年度に金融の基礎をしっかりと身につけることができる教育体制をとっています。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C.	証券アナリスト第1次試験に合格する水準の知識を身につけさせると同時に、専門分野に限らず経済や経営など幅広い学習ができる環境を整えています。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は武蔵大学「経済学部 金融学科」はこれからの社会にとって必要だと思いますか。
(あてはまるもの1つだけ)

- 必要だと思う 必要だと思わない

Q10. 貴社・貴団体では、武蔵大学「経済学部 金融学科」を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。
(あてはまるもの1つだけ)

- 採用したいと思う 採用したいと思わない

Q11. Q10で「採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。
現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(あてはまるもの1つだけ)

※尚、この回答は実際の採用人数をお約束いただくものではありません。

- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1名 | <input type="checkbox"/> 3名 | <input type="checkbox"/> 5名～9名 | <input type="checkbox"/> 人数は未確定 |
| <input type="checkbox"/> 2名 | <input type="checkbox"/> 4名 | <input type="checkbox"/> 10名以上 | |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

資料 12 企業に対する金融学科ニーズ調査（属性）

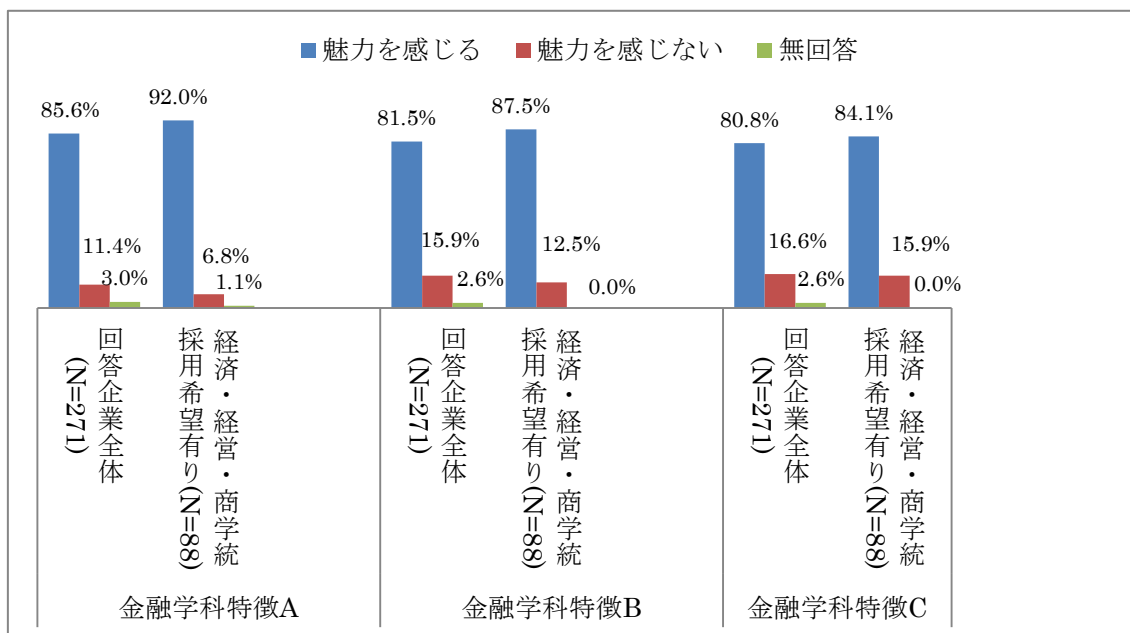
調査項目	回答項目	件数	割合
採用への関与度	採用決裁権有、選考関与有	62	22.9%
	採用決裁権有、選考関与無	2	0.7%
	採用決裁権無、選考関与有	182	67.2%
	情報や意見を収集、提供する立場のみ	23	8.5%
	無回答	2	0.7%
	合計	271	100.0%
会社の本社所在地	東京都	191	70.5%
	埼玉県	16	5.9%
	その他（北海道など 20 道府県）	62	22.9%
	無回答	2	0.7%
	合計	271	100.0%
業種	建設業	18	6.6%
	製造業	51	18.8%
	商社	22	8.1%
	小売業	18	6.6%
	金融・保険業	45	16.6%
	不動産業	8	3.0%
	運輸・倉庫業	11	4.1%
	電気・ガス業	1	0.4%
	情報通信業	24	8.9%
	教育施設	1	0.4%
	新聞・広告・出版・放送	6	2.2%
	旅行業	3	1.1%
	その他サービス	28	10.3%
	公務	19	7.0%
	その他	8	3.0%
	無回答	8	3.0%
合計	271	100.0%	
従業員規模	50 名未満	20	7.4%
	50 名～100 名未満	17	6.3%
	100 名～500 名未満	60	22.1%

	500名～1,000名未満	37	13.7%
	1,000名以上	131	48.3%
	無回答	6	2.2%
	合計	271	100.0%
採用方針	増やす	85	31.4%
	昨年度並み	131	48.3%
	減らす	15	5.5%
	未定	33	12.2%
	採用予定なし	3	1.1%
	見送り（中止）	0	0.0%
	無回答	4	1.5%
	合計	271	100.0%
採用したい学問系統 （複数回答※）	経済・経営・商学系統	88	32.5%
	社会学系統	63	23.2%
	法学系統	74	27.3%
	文学系統	57	21.0%
	語学系統	49	18.1%
	国際関係学系統	47	17.3%
	教員養成・教育学系統	20	7.4%
	生活科学系統	24	8.9%
	芸術学系統	21	7.7%
	総合科学系統	24	8.9%
	看護・保健学系統	11	4.1%
	医・歯・薬学系統	9	3.3%
	理学系統	62	22.9%
	工学系統	70	25.8%
	農・水産学系統	24	8.9%
	その他	11	4.1%
	学部や学問系統にはこだわらない	162	59.8%
	無回答	3	1.1%
	回答企業数	271	—

※複数回答のため、件数の合計は271になりません。

割合は回答企業数に対する数値のため、合計は100%になりません。

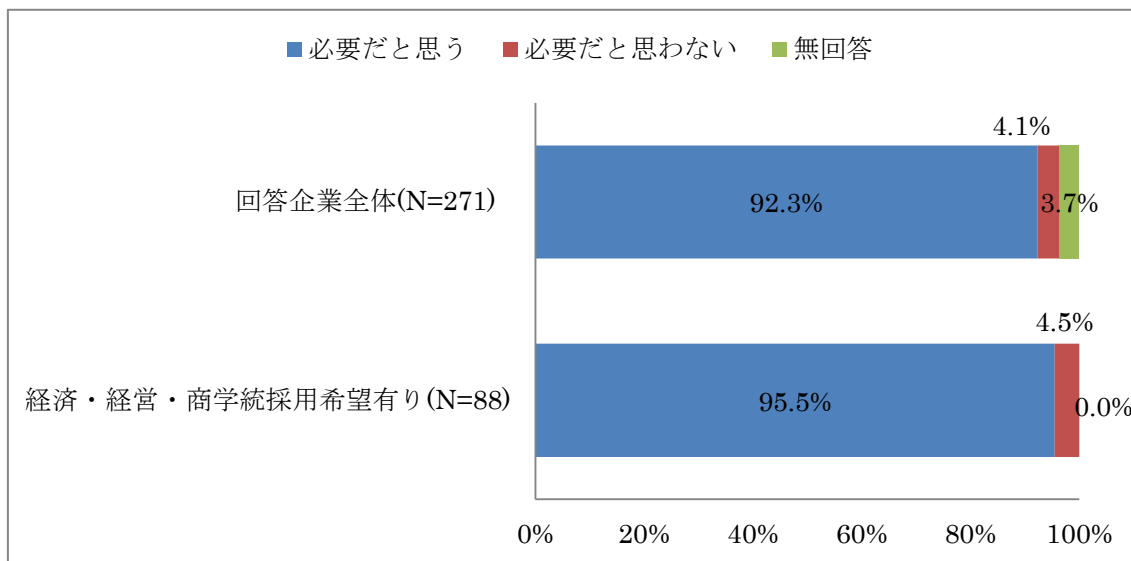
資料 13 本学金融学科の特徴に対する評価（企業）



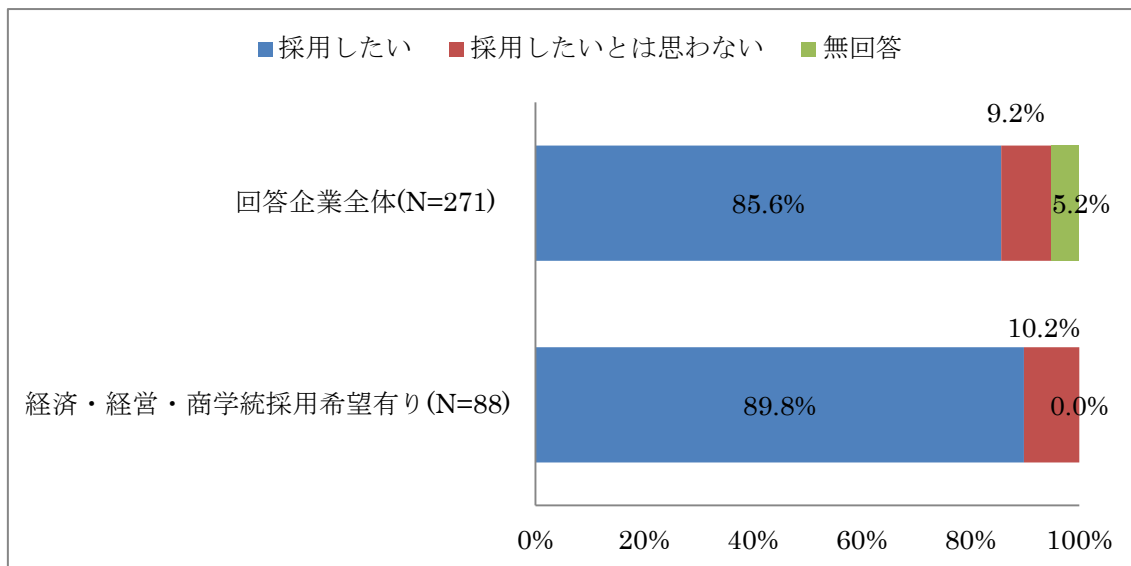
注) 「魅力を感じる」は、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計であり、

「魅力を感じない」は「あまり魅力を感じない」と「まったく魅力を感じない」の合計である。

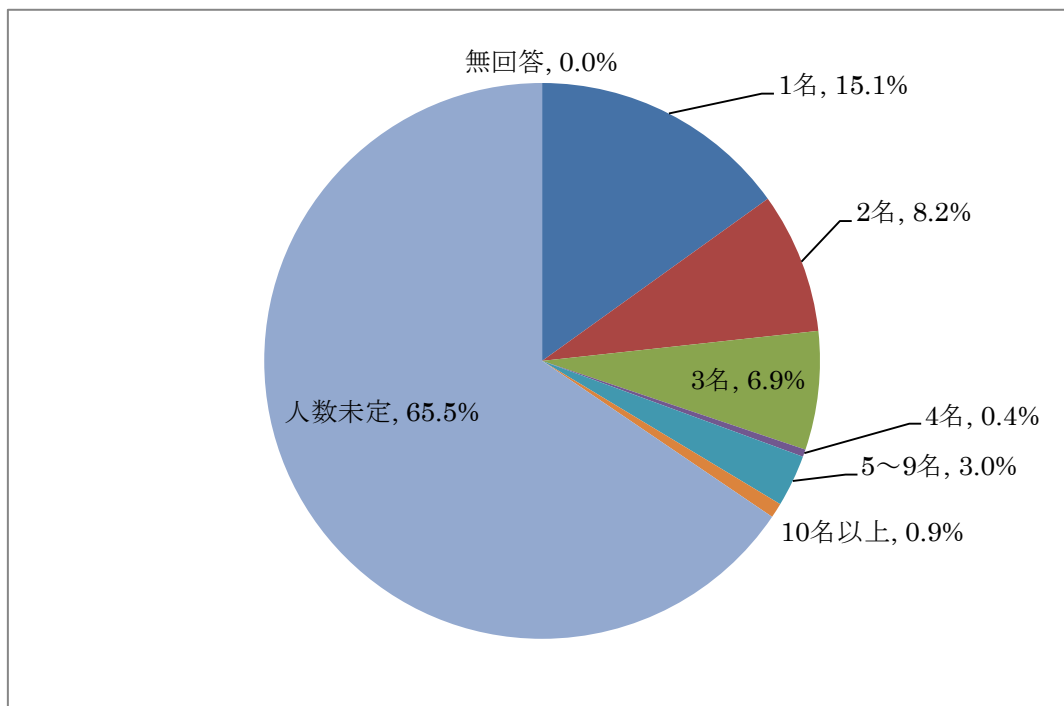
資料 14 本学金融学科の社会的必要性に関する評価（企業）



資料 15 本学金融学科卒業生に対する採用ニーズ（企業）



資料 16 採用したい人数（回答企業全体）



資料 17 採用したい人数（経済・経営・商学という学問系統に興味を持つ回答企業全体）

